

令和8年度 運営に関する計画

大阪市立豊里小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○令和7年度の全国全国学力学習状況調査の正答率は算数・国語とも、大阪市、全国平均を下回る結果となったが、平均無回答率は全国、大阪市に比べ下回っている。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果もいくつかの項目が大阪市平均を下回っている。児童は、最後まで取り組もうとする学習意欲を持ち、学校全体としては、落ち着いて学習に向かう姿が見られる。学習や運動に対する取り組みでは、基礎基本の力の定着を図る取り組みを推進する。

○児童同士は異学年での関わりも日常的にあり、声をかけ合い、何か困ったことがあった時は助け合う共助の様子が見られる。しかし、不登校児童の在籍率は依然高いため、児童の変容の共有、関係諸機関との連携を行うなど未然防止に努め、学校が安心した居場所となるよう取り組みを継続する。

○本校の学校運営の向上に向けての取り組みを推進し、保護者や地域に発信していくとともに、学校教育目標「明るく、楽しく、やさしさあふれる学校」をめざして学校全体で取り組んでいく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和11年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を、前年度より減少させる。(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和11年度末の校内調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目に対して「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と回答する児童の割合を95%以上にする。(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和11年度小学校学力経年調査「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、81%以上にする。(基本的な方向2 豊かな心の育成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)

○令和11年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01P向上させる。(基本的な方向4 だれ一人取り残さない学力の増加)

○令和11年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)

○令和11年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。(基本的な方向5 健やかな体の育成)

○令和11年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活「朝食を毎日食べること」「毎日、同じぐらいの時刻に寝て、同じぐらいの時刻に起きること」に対して肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(基本的な方向5 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しようしましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。

(基本的な方向6 教育DXデジタルトランスフォーメーション)

○令和11年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月18時間以下とする。

(基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○令和8年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81.1%以上にする。 (基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和8年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率(R7年度1.52)を、前年度より減少させる。 (基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和8年度末の校内調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目に対して「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と回答する児童の割合を93%以上にする。

(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和8年度小学校学力経年調査「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、79.5%以上にする。 (基本的な方向2 豊かな心の育成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.9%以上にする。 (基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)

○令和8年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01P向上させる。

(基本的な方向4 だれ一人取り残さない学力の増加)

○令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にす

(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)

○令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.7%以上にする。

(基本的な方向5 健やかな体の育成)

○令和8年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活「朝食を毎日食べること」「毎日、同じぐらいの時刻に寝て、同じぐらいの時刻に起きること」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

(基本的な方向5 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○令和8年度小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しようしましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を61.5%以上にする。

(基本的な方向6 教育DXデジタルトランスフォーメーション)

○令和8年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

(基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立豊里小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>(最重要目標 1 安全・安心な教育の推進)</p> <p>○令和 8 年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81.1%以上にする。(R7 81%)</p> <p style="text-align: right;">(基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現)</p> <p>○令和 8 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率 (R7 年度 1.52) を、前年度より減少させる。</p> <p style="text-align: right;">(基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現)</p> <p>○令和 8 年度末の校内調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目に対して「あてはまる (どちらかといえばあてはまる)」と回答する児童の割合を 93%以上にする。(R7 92.5%)</p> <p style="text-align: right;">(基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現)</p> <p>○令和 8 年度小学校学力経年調査「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、79.5%以上にする。(R7 79%)</p> <p style="text-align: right;">(基本的な方向 2 豊かな心の育成)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>☆取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>アンケートや日々の観察により、「いじめ」の未然防止、早期発見、早期解決を図り、いじめを絶対に許さない心を育て、学校が楽しいと思える安全・安心な環境を実現する。</p> <p>指標 令和 8 年度末校内調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 86%以上にする。(R7 85%)</p>	
<p>☆取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>遅刻・不登校を減少させるため、児童や家庭に働きかけるための連絡・支援を策定し、全職員で共通理解を図る。</p> <p>指標 ・課題の整理と取組みの改善を図るため、月に 1 回連絡会を行い、全職員で共有する。 ・不登校対策会議を年間 2 回以上 (7 月上旬、11 月末) 行い、改善策を策定する。</p>	
<p>☆取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学校生活において、将来、規範意識をもって生活できる力を育成する。</p> <p>指標 ・朝会等で、月目標を活用し、ルールを守ることの大切さを伝える。 ・各学級における、学習規律やルールを明確にし、帰りの会等で週 1 回程度、確認の場を設ける。 ・児童会から、学期に 1 回以上、あいさつや学校のルールの大切さを呼びかける。 (あいさつ強調週間。ポスターなど)</p>	
<p>☆取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>児童が自己有用感を高めながら、他者を思いやる気持ちをはぐくみ、明るく楽しい学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>指標 ・学級活動等で、友だちの良いところを見つける取組みを学期に 1 回以上行う。 ・違いを認め合い、思いやりの気持ちをもつことができるよう、児童会行事、縦割り活動、児童集会などの異年齢交流を月 2 回以上行う。 ・児童の道徳心・社会性の向上を目指し、人権教育に関わる実践を年間 1 回以上行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

《年度目標の達成状況》

学校園の年度目標

《取組の進捗状況の結果と分析》

☆ 〈取組内容①〉

・

☆ 〈取組内容②〉

・

☆ 〈取組内容③〉

☆ 〈取組内容④〉

次年度への改善点（後期）

☆ 〈取組内容①〉

☆ 〈取組内容②〉

☆ 〈取組内容③〉

☆ 〈取組内容④〉

大阪市立豊里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.9%以上にする。(R7 79.8%) (基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01P向上させる。 (R7年度 3年 0.86 4年 0.97 5年 1.01) (基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7年度 79.9%) (基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.7%以上にする。 (R7年度 87.6%) (基本的な方向5 健やかな体の育成)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活「朝食を毎日食べること」「毎日、同じぐらいの時刻に寝て、同じぐらいの時刻に起きること」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (基本的な方向5 健やかな体の育成)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>☆取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 課題に対して一人ひとりが意見を持ち、対話的交流を通して考えを深め合う指導方法や教材の工夫を行う。</p> <p>指標 ・公開授業・討議会・研修会などを月に1回程度行う。 ・意見が出るような話し合いになるように交流の仕方を工夫し、毎時間、対話的交流を1回以上行う。</p>	
<p>☆取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 基礎学力の向上を目指し、個に応じた指導法を工夫する。</p> <p>指標 ・朝学習、モジュールタイム等を活用し、学期に1回以上、言語力・計算力を高める強調週間を行う。 ・言語活動を重視し、ことばのきまり等の単元をていねいに指導し、学期ごとに復習する。</p>	
<p>☆取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 外国語活動・英語科教材を日々の学習で使えるように整備し、授業の構築を図る。</p> <p>指標 令和8年度末の校内調査における「英語を使って楽しく活動しようとしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を81.1%以上にする。(R7年度 81%)</p>	
<p>☆取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体力向上のための取り組みを計画したり、体育科授業の充実を図ったりと、目標をもって運動に親しめるようにする。</p> <p>指標 ・令和8年度末の校内調査における「体育の授業の時間に目標をもってしっかりと体を動かすことができた」の項目について肯定的に答える児童の割合を89.9%以上にする。(R7年度 89.8%) ・学期に1回、体力向上週間を設ける。(新体力テスト、なわとびギネス、かけあしタイム) ・学習内容に応じて、サーキットトレーニングを行い、体力・技術の向上をめざす。</p>	
<p>☆取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 基本的な生活習慣の確立のために、学期ごとに「元気アップウイーク」を設け、児童の意識付けを図るとともに、家庭にもフィードバックしていく。</p> <p>指標 「元気アップウイーク」の自己評価で「早寝・早起き・朝ごはん・排便」の項目の達成状況を前年度より上回るようにする。(R7年度 84.6%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

《年度目標の達成状況》

年度目標

《取組の進捗状況の結果と分析》

☆ 〈取組内容①〉

☆ 〈取組内容②〉

☆ 〈取組内容③〉

☆ 〈取組内容④〉

☆ 〈取組内容⑤〉

次年度への改善点（後期）

☆ 〈取組内容①〉

☆ 〈取組内容②〉

☆ 〈取組内容③〉

☆ 〈取組内容④〉

☆ 〈取組内容⑤〉

大阪市立豊里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○令和8年度小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しようしましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を61.5%以上にする。 (R7年度 61.3%) (基本的な方向6 教育DXデジタルトランスフォーメーション)</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。 (R7年度 94.9%) (基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>☆取組内容①【基本的な方向6 教育DXデジタルトランスフォーメーション】</p> <p>日々の授業で、学習者用端末やICT機器を活用した学習内容を設定する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査における「学校生活(心の天気、学習など)の中で、毎日、学習者用端末やICT機器を活用している。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を前期調査より向上させる。 ・ICT研修を年間2回以上行い、指導者の知識、技術の向上をめざす。 	
<p>☆取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>仕事と生活の両立支援の在り方を見直し、ゆとりのある時間を設ける。 児童と向き合う時間を確保し、教職員が健康でかつ活気ある環境をめざす。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日(定時セット日)を週1回設定し、18時までには退勤する。 ・会議の終了時刻を決め、短時間で話し合う工夫をする。 ・PDCAサイクルのもと、毎年、教育課程を見直し、授業時間の調整を行う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

《年度目標の達成状況》

学校園の年度目標

-
-

《取組の進捗状況の結果と分析》

☆ 〈取組内容①〉

☆ 〈取組内容②〉

次年度への改善点（後期）

〈取組内容①〉

〈取組内容②〉